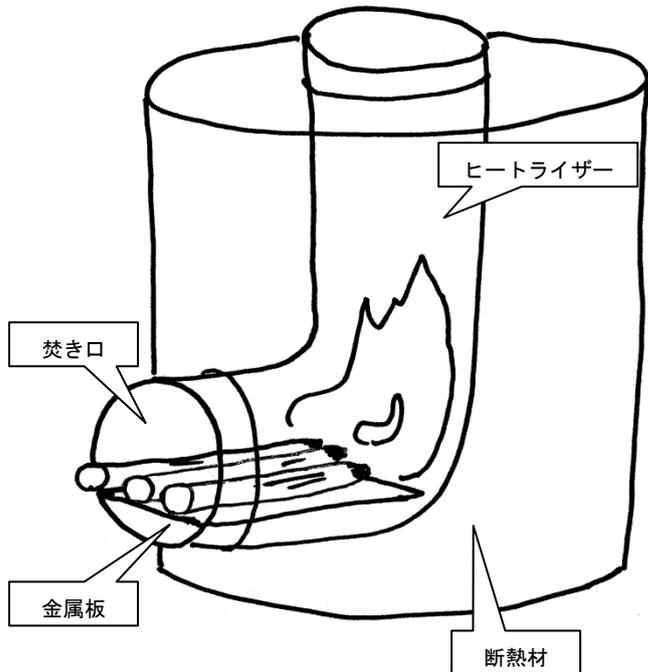


「ロケットストーブを作ろう！ 入門編」

ロケットストーブってご存じですか？

今、話題の手作りできる薪ストーブ。

簡単な構造ながら、熱効率が大変良く、薪も従来の半分以下。
今回は、調理用の簡単なロケットストーブを製作します。



●ロケットストーブの仕組み

一番の特徴は、ヒートライザー（熱の上昇路）。

断熱された内部煙突を燃焼ガスが一気に駆け上がりながら、完全燃焼します。

このため、煙が殆ど出ない。

暖房用のロケットストーブは、強力な上昇気流から得られた熱い排気を、外側に配したドラム缶及び横引き煙突により、熱を放出しながら排気します。

【作り方】

1. ペール缶を洗います。（オイルまみれなので）
2. ペール缶のふたのパッキンを外します。（外さないと溶けます）
3. ペール缶と煙突を合わせてイメージをつかみます。
4. 煙突の径に合わせて、ペール缶のふたの真ん中に穴を開けます。
5. ペール缶の側面に煙突の径に合わせて穴を開けます。底から3cm程度浮かせます。（断熱のため）
6. 煙突、ふたを仮組みします。
7. 煙突の直筒部の余分なところを切り取ります。
8. 再び、煙突をセットして断熱材を入れます。
9. ふたをセットします。
10. 焚き口に金属板をセットします。
11. できあがり。さあ、早速焚いてみましょう。

【作り方のヒント】

- ・穴はマーカで印をつける。
- ・いきなり、ぴったりの大きさに空けない。少し小さめに空け、煙突に合わせながら少しづつ広げる。
- ・断熱材がこぼれるようなら、アルミテープで補修。

【材料】

- ・ペール缶
- ・煙突（直筒部、曲がり部）φ11~12cm
- ・断熱材（パーライト、軽石等）
- ・金属板（空き缶を切り開いて作成）
- ・五徳（廃品利用、レンガでも可）
- ・耐熱アルミテープ（切り口処理）

【道具】

- ・金切りバサミ、金鋸
- ・ペンチ
- ・マイナスドライバー
- ・手袋（必須！ できれば皮。無いと手を切ります）
- ・マーカ
- ・金槌、金ヤスリ（あると便利）
- ・定規